

令和6年度 群馬県教育研究所連盟 春季研修会

令和6年5月29日

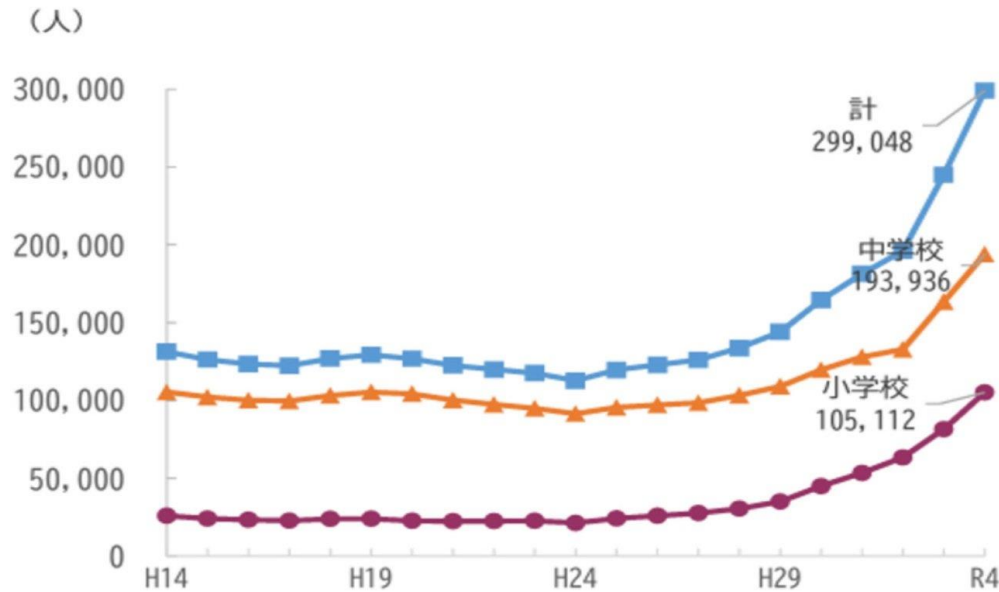
第4期群馬県教育振興基本計画の理念と

群馬県総合教育センターの果たす役割

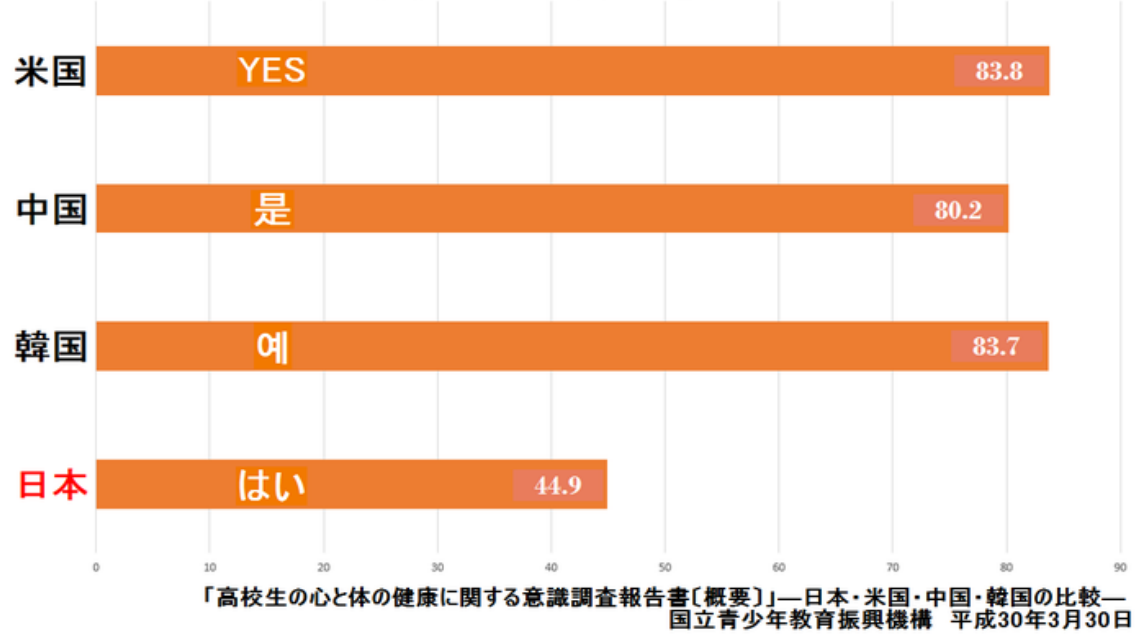
群馬県総合教育センター
所長 古市 功

はじめに 「大きな時代の変化の中で・・・」

不登校児童生徒数の推移



私は価値のある人間だと思う



教育センター・教育研究所の役割・存在意義は？

はじめに 「新しい一歩の挑戦」(「できることからやってみる」)

「心と学びのサポートセンター『つなぐん』」の「つなサポ」の紹介



【目指す児童生徒（教職員）の姿】

予測困難で、変化の激しい社会の中を

自ら主体的に判断・行動し、

強くしなやかに対応できる児童生徒（教職員）

第4期 群馬県教育振興基本計画 |

最上位目標

自分とみんなのウェルビーイングが重なり合い、高め合う共生社会へ向けて
—ひとりひとりがエージェンシーを發揮し、
自ら学びをつくり、行動し続ける「自律した学習者」の育成—

群馬県の教育が目指す 学習者像

- ・「最上位目標」を分解・具体化した学習者の要素
- ・一人一人の学習者に（濃淡はあっても）具えて欲しい5つの要素

①「自らが主語となる学びをつくり、深めていく」

…学習者一人一人が自発的に自らの興味・関心に従って学びに向かい、粘り強くあきらめずに取り組み、深めていくこと

②「社会課題を自分事化して行動に移す」

…社会の形成者としての自覚を持ち、社会課題を自分事化して考え、実際の行動に移す行動力を持つこと

③「多様性を尊重し、互いに認め合う」

…国籍、人種、宗教、性別、経済力など自分と異なる他者を知り、違いを認め合い、お互いを価値ある者として相対すること

④「対話と交流により、信頼関係を築いていく」

…自分とみんなのウェルビーイングを高めるために必要な信頼関係を対話と交流によって自ら築いていくこと

⑤「生涯にわたり学び続ける喜びを実感し、共有していく」

…人生100年時代に学び続けることの「大切さ」だけでなく、「学ぶことは楽しい」と学習者が実感し、その思いを共有し、広げていくこと

目標実現のために 持ち続ける視点

「最上位目標」から「目指す学習者像」までを含む「目標」実現のため、常々頭に入れて、何か判断に迷ったときの道しるべとするために持ち続ける考え方

①「大人も、子どもも、社会的な“一人の主体”」

…「大人も」「子どもも」と併記することで、両者が対等であることを示す。子どもは、一方的に守られる・教えられる存在ではなく、自発的に社会に影響を与えられる存在であり、そのことを大人も、子ども自身も認識することが、自他を尊重し、自ら行動する姿勢を育むことにつながる

②「学校で、家庭で、地域で…自ら学び育つ、共に学び育つ」

…「学び＝学校」という一般的な社会認識からの転換が必要であること。様々な場における個々の学習者による自律的な学びと共に、心理的安全性のある信頼関係の下での他者との関わりの中で生じる協働的な学びにより、それぞれの学習者が成長していくことが大切であること

用語	説明
群馬県が定義する (学習者の) エージェンシー	○自分と他者を尊重した上で、課題を自分事化し、自ら考え、判断して責任ある行動をとろうとする意志の強さ ○多様な価値観の中で、創造的な対話を行おうとする意志の強さ
本計画の対象である「学習者」	○本計画では、対象を「子ども」や「児童生徒」とはせずに「学習者」とした。 ○「学習者」には、学校に通う児童や生徒だけではなく、あらゆる立場の人たちが含まれる。保護者、教師、地域の大人、子どもたち等の一人一人が「学習者」であり、様々な場において学び続けていく者であるという趣旨

「ウェルビーイング (Well-being)」 ×Happy ×映え

多様な個人が、それぞれの幸せや生きがいを感じられ、身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。短期的な幸福だけでなく、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。

「エージェンシー (Agency)」 ×SNSの叩き

人がみな生まれながらに持つ、自分自身の人生と周りの社会をよりよくしていこうとする意志の強さ。社会や集団の中で課題を「自分事化」して、自己の役割を果たそうとする姿勢。「当事者として参画する態度」

※ 小学校一年生に、分かるように説明すると……？

第4期 群馬県教育振興基本計画 2

(ア) 目指す学習者像の実現のための5つの重点政策

a 変化の激しい社会に対応できる資質・能力の育成

発達段階や個性、興味関心に応じた一人一人の主体的な学びを通じて、知識・技能等の認知能力と学びに向かう力等の非認知能力を相互に強化しながら身に付ける

(主なテーマ)

(1) 自ら学びをつくる力の育成

- ・遊びを通して主体性を育む幼児期にふさわしい教育の推進
- ・「わかる喜び」「できる喜び」「学ぶ喜び」を実感できる教育の推進
- ・エージェンシーを発揮するための学びの推進
- ・探究的な学習の充実
- 等

(2) 自ら考え、判断し、行動できる力の育成

- ・非認知能力の評価・育成に係る群馬モデルの検討・普及
- ・挑戦や試行錯誤を繰り返す場の充実
- ・子どもが主体的に取り組む活動の推進
- ・多様な価値と対話を重視する道徳教育の推進
- 等

(3) 自立の基盤となる資質・能力の育成

- ・ソーシャルスキルの育成・キャリア教育の推進
- ・職業教育の推進
- ・外国語教育の充実
- 等

b 多様性を尊重し、協働する力の育成

全ての子どもの可能性を最大限に伸ばすとともに、一人一人が自分を大切にし、異なる状況にある他者を尊重し、対話や交流を行い、互いにとって良い方向を見い出そうとする姿勢を身につける

(主なテーマ)

(1) 特別支援教育の推進

- ・個々の特性に応じた支援の充実
- ・特別支援学校と地域との交流促進
- ・就労支援等の進路選択支援の充実
- 等

(2) 互いを理解・尊重する活動の推進

- ・人権にかかる課題解決に向けた取組
- ・児童生徒による主体的ないじめ防止活動推進
- ・ソーシャルスキルの育成
- 等

(3) 多様な価値観を踏まえた協働の推進

- ・多文化共生社会に向けた国際理解教育の推進
- ・外国人児童生徒の教育充実
- ・男女共同参画とジェンダーに係る教育の推進
- 等

c 自分と社会をより豊かにするための生涯にわたる学びの支援

人生100年時代において学び続ける意欲を高め、自らの興味関心に基づいて社会課題を自分事化して深める学びや、文化・芸術との関わりを深めること等により、それぞれの学習者の学びを豊かにすることを目指す

(主なテーマ)

(1) 主体的に社会の形成に参画する態度の育成

- ・子どもの意見表明の場の創出
- ・子どもが主体的に取り組む活動の推進
- ・主権者教育の推進
- ・多様な価値と対話を重視した道徳教育の推進
- 等

(2) 社会教育や体験活動など多様な学びの充実

- ・地域の多様な学びの促進
- ・青少年教育の推進
- ・様々な体験活動の推進
- ・文化芸術活動及び歴史文化の学びの推進
- 等

d 心と体の健康に対する理解と向上

自他の生命の大切さを認識し、心と体の健康に関する基本的な知識を身に付け、心身相関の関係性等を理解して実践につなげることで、全ての学びの基盤である心身を整える術を身に付ける

(主なテーマ)

(1) 心と体の健康への理解と意識向上

- ・メンタルヘルスにかかる啓発推進
- ・学校保健や食育の充実
- ・相談する力や周りにつながる力を育む教育の推進
- ・「SOSの出し方教育」の推進
- 等

(2) 身体活動の充実とスポーツを楽しむ意識の醸成

- ・学校における体育活動の充実
- ・地域生涯スポーツの定着と充実
- 等

(3) 安全・安心にかかる意識の向上

- ・交通安全に関する意識の向上
- ・包括的性教育の推進
- ・防災教育の推進
- ・ネットリテラシーの向上
- ・薬物乱用防止の啓発推進
- 等

e 時代の変化に対応した教育イノベーションの推進

教育の「不易（変わらない本質）」の部分も「流行」の部分も大切にしながら、県を挙げて「始動人（自分の頭で未来を考え、動き出し、生き抜く力を持つ人）」の育成につながる新しい取組に挑戦する

- (主なテーマ) 1 自分で考え動き出す〔課題解決能力育成〕 2 デジタルツールを使いこなす〔デジタル人材育成〕 3 世界に目を向ける〔グローバル人材育成〕
4 教育DX〔DXを基盤とした新しい学びの確立〕 5 全ての人活躍できる〔誰一人取り残さない学び〕

第4期 群馬県教育振興基本計画 3

(イ):群馬の教育を推進する基盤となる5つの重点政策

a 「人」を支える取組の充実

生き生きと学び合える学校の実現のため、児童生徒及び教職員が能力を最大限に発揮できる環境を整備する

(主なテーマ)

教職員の働き方向上

- ・学校業務及び行事等の見直しの推進
- ・研修等を通じた教職員のスキルアップ・キャリア支援の充実
- ・働きやすい組織づくり ・学校の様々な業務を支援する人員の配置 等

b これからの時代の学びを支える施設・設備整備の推進

時代に応じて変化していく学びに対応するため、将来を見据えた施設・設備等の整備を推進する

(主なテーマ)

県立学校の再編整備及び施設・設備整備の推進

- ・県立学校の再編整備の推進
- ・施設・設備整備の推進

c これからの時代の学びを見据えた体制の整備

学習者が活躍する将来の社会に必要な資質・能力を育む教育を推進するため、新たな学びの在り方に対応できる教育体制を整える

(主なテーマ)

(1) 学校の魅力向上

- ・学校経営ビジョンと組織マネジメントの明確化
- ・県立学校の特色化推進 等

(2) デジタル学習基盤の整備

- ・ICT環境の充実 ・学びの基盤としてのICTの有効活用
- ・教育データ分析・利活用 ・校務のDXの推進
- ・ICT活用能力を含めた教員の指導力向上
- ・児童生徒の情報活用能力の育成 等

(3) インクルーシブ教育推進に向けた体制整備

- ・特別支援教育推進のための体制整備
- ・外国人児童生徒の教育の充実
- ・群馬ならではのインクルーシブな教育の構築 等

d 学びの充実に向けた様々な主体による連携・協働の推進

学びを学校だけで完結させず、「家庭」「学校」「地域」「行政機関」「民間団体・企業」等の連携・協働により、学校教育・社会教育が相互に関わりを持ちながら、生涯にわたる学びを広げていく

(主なテーマ)

(1) 「地域とともにある学校」

- ・「学校とともにある地域づくり」に向けた取組の充実
- ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
- ・部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境の一体的な整備
- ・家庭教育支援の充実 等

(2) 生涯学習・社会教育を推進する環境整備

- ・地域の学びを支える人材の養成・活躍機会の充実
- ・学校や地域における多様な学びのハブとなる場づくり
- ・社会教育分野のデジタル活用推進
- ・読書活動の充実と県立図書館の機能強化 等

e 全ての子どもの学びを支援する取組の充実

全ての子どもの可能性を最大限に伸ばす教育を目指し、教育費負担の軽減を図りつつ、個別の課題を抱える子どもに対して、「教育」と「福祉」「保健」「医療」「司法」「地域」「民間団体・企業」等の連携により、年齢や背景の多様性等に応じた支援を行う

(主なテーマ)

(1) 教育に係る経済的支援

- ・児童・生徒に対する教育費負担の軽減 等

(2) 不登校児童生徒等への支援の充実

- ・専門家・関係機関等と連携した教育相談
- ・支援体制の充実 等

(3) 様々な背景要因により

- 本来持つしなやかさや力強さを発揮しづらい子どもに対する支援
- ・虐待やいじめ事案等における迅速な連携
- ・ヤングケアラー支援の推進 等

自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す！

学校生活の中で、上の写真のような子供たちの姿が現れるといいですね。

そのためには、子供たち一人一人が**エージェンシー**を発揮する**自律した学習者**へと変わっていくことが大切です。



でも実際は、こんな感じの子が多いな…



間違えているかもしれないから黙って
いよう。言われたことだけやればいいや。

エージェンシー? カタカナで分かりにくいな。**自律した学習者**? また新しいことをしなければいけないの?

学ぶ内容は、学校指導要領や幼稚園教育要領等に示されている内容であり、これまでと変わりません。今、私たち教師に必要なのは、**子供たち自身の力を信じ、学びの転換を図る**ことです。

一斉型の講義を受けるだけの受動的な学び



能動的で他者と協働した学び
(主体的・対話的で深い学び)

子供たちの力を信じるからといって、学習の進め方や方法等を全て任せて教師は放任するという意味ではありません。問題を解決していく学びの中で、以下の場面を意図的に取り入れていくことが大切です。

私たち教師もエージェンシーを発揮し、新しい物事に前向きに取り組み、チャレンジする姿勢や、変わりゆく状況に対して柔軟に対応できる資質・能力を身に付けていきましょう。詳しくは中頁をご覧ください。



子供も教員も自律した学習者

群馬県総合教育センターの役割



群馬県教育委員会

施策の立案・執行

一歩先の具体化した姿

【直面する諸課題】

- ・第4期教育振興基本計画の実施
- ・予測困難な時代を生き抜く児童生徒の育成
- ・主体的・対話的で深い学びの実現
- ・非認知能力の育成の必要性
- ・不登校児童の増加
- ・減少する児童生徒への対応
- ・教員不足、教員の魅力度向上
- ・ICTの効果的な利活用 など



群馬県総合教育センター
「研修・研究機関」

群馬県教育のシンクタンク

「自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す」

R5

R6

テーマ 「一歩先を見て、半歩前を進む」「一歩先のカタチ」

喫緊の教育課題の解決に向けての「具体策の提案・提言」ができるようにする
→ 「各係が主体となった研究の推進」「長期研修員の募集区分の変更」

学習

・ 子供が主語となる学びの実現 (子供のAgency)

研修

・ 研修観の転換 (教員のAgency)

支援

・ 相談・支援の一体的推進 (誰一人取り残さない教育)

令和6年度 群馬県総合教育センター 教育研究全体構想【概要】

教育振興基本計画（文部科学省）

持続可能な社会の創り手の育成
日本社会に根差したウェルビーイングの向上

新・群馬県総合計画 群馬県教育大綱（群馬県）

始動人の育成

群馬県教育ビジョン（群馬県教育委員会）

自分とみんなのウェルビーイングが重なり合い、
高め合う共生社会へ向けて
ひとりひとりがエージェンシーを発揮し、自ら学び
をつくり、行動し続ける「自律した学習者」の育成

NITS戦略（教職員支援機構）

変化を前向きに受け止め、
探究心を持ちつつ自律的に
学ぶ教職員の育成

群馬県教員育成指標・ぐんま教職員ステージアップシステム・研修基本計画（群馬県総合教育センター・群馬県教育人材総合支援協議会）

「令和の日本型学校教育」を担う教職員の資質向上・非認知能力の育成の視点に立った研修の企画・運営の推進
～学び続ける教員を支える「受けてよかった」と思える研修の実現～

研修観の転換

～教職生活を通じた
「新たな教師の学びの姿」の実現～
(研究企画係)

- ・ 持続可能な教育環境の構築
- ・ 質の高い教師の確保のための教職の魅力向上

不登校児童生徒等への 支援の在り方に関わる研究

～メタバース「オンラインサポート」
『つなサポ』における居場所づくりを通して～
(子ども教育相談係)
(心と学びのサポートセンター「つなぐん」)

幼児教育と小学校教育の学びをつなぐ 「架け橋期」のカリキュラムの創造

～非認知能力を視点とした幼児教育と
小学校教育の相互理解の促進を通して～
(幼児教育センター)

県の教育課題の解決に向けた研究領域



子供が主語となる学び

～自由進度学習～
(義務教育研究係)

- ・ 非認知能力の育成に焦点を当てた学校教育の改善
- ・ CFEの理念と目標を実践に移すための学校や教育機関の取組

(高校教育研究係)

自ら情報を収集・活用し、
資質向上を図る教職員を目指して
～クラウドを活用した
情報の整備・発信を通して～

(教育情報推進係)

インクルーシブ教育システムの理念に
基づく「自らの学びを実現できる」
学校・学級・授業づくり

(特別支援研究係)

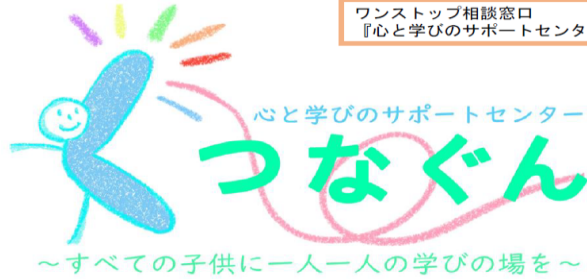
指導主事と教育研修員がエージェンシーを発揮しながらチームで取り組む協働的な研究の実現

研企
義務
高校
情報
特支
幼児
相談

- ・研修観の転換
- ・教員の魅力度向上
- ・自由進度学習
- ・美術（デジ庁指定AI活用）
- ・SAH非認知能力の育成
- ・スコットランド型
- ・プログラミング教育
- ・校内クラウドの提案
- ・インクルーシブ教育「自らの学びをつくる」
- ・「架け橋期」のカリキュラム作成・実践
- ・「つなサポ」の企画作成・運営・実践

※各係の進める研究の実践・検証を長期研修員が担う

相談・支援体制の充実を目指して



ワンストップ相談窓口
『心と学びのサポートセンター「つなぐん」』の御案内

令和6年度
開設！

- ・友達に嫌なことを言われている。
- ・学校に行きたくない。



- ・子供の学習面の遅れを心配している。
- ・子供の生活習慣の問題について心配している。



- ・学級経営が不安。
- ・クラスの子供のことで悩んでいる。



あなたの悩みを
聞かせてください。
相談はこちらから↓



「つなぐん」とは？

心と学びのサポートセンター「つなぐん」は、いつでもどこからでもいろいろな方法でつながる相談窓口です。どこにも相談できない子供、保護者、教職員の悩みを支援につなげ、安心できる居場所や社会とのつながりの機会を提供します。

24時間子供SOSダイヤル
(電話相談)

子ども教育・子育て相談
(電話相談・来所相談・訪問相談)

高校生オンライン相談
(SNS相談)

教職員のための相談窓口
(メール相談・来所相談等)

つなぐんオンラインサポート
「つなサポ」



なぜ「つなぐん」ってよぶの？

「つなぐん」は、「つながる広がる」「ぐんまの子供たちのための心と学びのサポートセンター」の通称です。相談者が様々な場所と「つながる」こと、学びの選択肢や生き方が「広がる」ことを目指します。

～ 詳しくは裏面へGo! ～

相談から支援へつなぐ

群馬県総合教育センター

教職員のための 相談窓口

令和6年5月1日～ 受付・相談開始
一人で抱え込まず、気軽に相談を

- ・教材研究や評価のコツが分からない。
- ・学級が騒がしいため、落ち着いた学級にしたい。
- ・小学校勤務と中学校勤務の違いに戸惑っている。
- ・他の先生方の仕事のペースについていけない。
- ・保護者への接し方がよく分からない。
- ・このまま教師を続けていける自信がない。 など



秘密は厳守します。 専門の相談員が相談をお受けします。

対象は？

○初任者から採用5年目の
教職員（小・中・高・特の
教諭、養護教諭、事務職員、
実習助手、寄宿舎指導員）

メール、電話、オンライン
(Zoom)での相談が可能
です！
来所や訪問して顔を合わせ
て相談もできます。



身近な相談先としてお気軽にご利用ください。



申込は、この2次元コードから
問合せフォームに入り、
必要事項を入力するだけ！
気軽に相談してください。



<問合せ先>
群馬県総合教育センター 子ども教育相談係
☎ 0270-26-9217

困ったときに頼りになる相談窓口



相談内容によって、より適切な相談が受けられる関係部署・機関のご紹介 (全教職員が対象)

子ども教育・子育て相談
0270-26-9200
(県総合教育センター)

ハラスメント専用相談
027-226-4350 (県教育委員会)

メンタルヘルス相談
0120-783-269 (公立学校共済組合)

総合教育センターは

「群馬の教育の『一歩先のカタチ』」を示します!

「伸びようとする子供・教職員」を応援します!

つなぐん(不登校支援)

自由進度学習(教育実践)

普及・啓発
(連盟双書・ぐんま教育賞)

各市町村の教育センター・教育研究所・教育支援センターとの連携・ネットワーク